様式第５号

平成 31 年度　学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	107	学 校 名	御殿場特別支援学校	記 載 者	副校長　渡邉　広和

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評　価	意見
ア	**小中高 12 年間のつながりのある教育課程改善を行う**	・御特シラバス(年間指導目標と内容)作成と教育課程改善 ・年間指導計画と個別の指導計画を連動した授業実践	B	B	職員の役割を決め、協力して取り組みしていることは良い。
		・専門家を活用した自立活動研修 ・指導をつなげるアセスメントの活用(事例検討会３回)	A	A	専門家を上手に活用して指導につながったのは良かった。
		・全体進路学習会　（１回） ・校内移行支援会議の充実 ・進路希望達成（100%）	A	A	進路希望達成 100%はうれしい結果として評価できる。
	児童生徒が主体的に学び、生きる力を育む授業づくり	・主体的・対話的で深い学びのある授業づくり研修(各グループ) ・助言者招聘研修（各２回） ・学部間授業交流（年２回） ・特別支援教育研修会 大学や企業と連携した情報活用能力育成学習会（７月） ・授業公開、はごろも夢講演会（1 月）	A	A	積極的に研修会を実施し、授業公開も行うことができたことは評価できる。
	命を守る安全教育を実践する	・緊急訓練と連動したマニュアル改善（２回） ・個別マニュアルの確認(対象児童生徒) ・教育活動中の安全点検（毎時間） ・通学路の危険箇所マップ作成 ・地域と連携した防災訓練含む富士山噴火対応訓練）（２回） ・学校再開計画の周知 ・地域との防災事務連絡会（１回）	A	A	御特まなぼうさいが定着し、身近に防災を明るく取り組んでいることが確認できた。また、日ごろの取組の結果ぼうさい甲子園で賞を受賞したことは大変素晴らしいことだと感じた。 また、富士山噴火をテーマに避難訓練を実施したことで、地域特有の災害に取り組む体制は大変良いことだと感じた。
		・外部専門家と連携した命を守る学習の実践(２回) ・防災防犯学習「御特まなぼうさい」（月１回　実践）	A	A	

様式第５号

イ	**美しい教育環境をつくり、豊かで健やかな成長を促す**	・道徳全体計画作成 ・互いを認め合う人権教育授業（学年１回） ・人権意識の向上（研修会２回） ・「気持ちの良いあいさつ」運動	A	A	子どもたちの人権を守った関わり合いが大切。大人が見本を見せること大切だと思う。
		・ピカピカ大作戦（月１回） ・ミニクリーン作戦　（５回） ・生活づくり、授業づくりチェックリストによる点検と改善	B	A	学校がきれいです。これを続けていってほしい。
		・身体を育成する自立活動・体育指導の充実（毎日） ・発達段階に応じた系統性のある清掃指導・性教育の実施「命を大切にする授業」（３回）	A	A	高等部の保健の授業の取組が更に進むと良い。
		・栄養教諭と連携した授業実践 ・「豊かに生きる食育」実践	A	A	食育教育の充実を感じた。子どもたちを巻き込んでこれからも続けることが大切。
		・地域人材を活用した読み聞かせ（５回）と図書台帳作成 ・校外作品応募、校内展示充実 ・富士山学習月間（２月） ・ＨＰギャラリー更新（10回）	A	A	いつ来ても校内のいたるところに子どもたちの作品があり大切にされていると感じた。
ウ	**「共生・共育」の充実**	・交流籍の理解促進と「交流及び共同学習」希望者実施（100%）	A	A	交流教育は障害のない子のためにも大切。更に進めて欲しい。
		・「伝わる」学校だより、ホームページ、学校教育目標の周知	A	A	ホームページをより見やすくすると良い。
	地域の力を高めるセンター的機能の活用	・研究テーマに基づく実践 ・北駿高等学校と協働したケース会議や学習会の実施	A	A	北駿の高等学校との連携、協働したケース会議等は実践として素晴らしい。
		・にこにこ教室（２回） ・学校見学会（１回） ・関係機関と連携したケース会議 ・ＳＣと連携した指導 ・福祉事業所連絡会（２回）	A	A	ケース会議を地域を巻き込んで38回開催したことはすごいと思う。
エ	社会に開かれた学校づくり	・地域人材等活用　（学部５回） ・東京オリ、パラ関連行事参加 ・「地域と学ぶ教育課程」（発信）	A	A	地域を活用した学習の実践にはこれからも協力していきたい。

様式第５号

		・CS 委員会組織の見直しと活用 ・教育課程の改善　（２回） ・20 周年記念事業の実施（記念運動会、学習発表会、式典等）	A	A	今年度は充実した話し合いや意見交換ができた。
オ	**「チーム御特」心身ともに健康な「人を大切にする学校」改善**	・飲酒運転 情報紛失０件 ・当事者意識共有研修（２回） ・人を大切にする教師の言動	A	A	交通事故件数の削減８割は評価できる、０を目指してほしい。
		・分掌業務の見える化 ・空き時間の取得報告（月末） ・時間外勤務月 45 時間以内 ・アイデア職員会議改善（２回）	A	A	時間外勤務時間の減少はこれまで以上に推進してほしい。
		・「静岡県教職員育成指標」に基づく経年研修の実施 ・チームによる実践（３回）	A	A	研修は何よりも大切なので継続していってほしい。